

社協だより

平成30年4月1日

第177号

編集
社会福祉法人

江南市社会福祉協議会

江南市古知野町宮裏121番地
(老人福祉センター内)

TEL・FAX(0587)55-5262



困っていることを
相談したい

自分の特技を
活かしたい

悩みを話せる
仲間が欲しい

「ず～っとこのまちで暮らしたい」

という想いを実現するために。

好きなところへ
外出したい

「ふくし」に
ついて知りたい

将来も
安心して暮らせる
まちにしたい

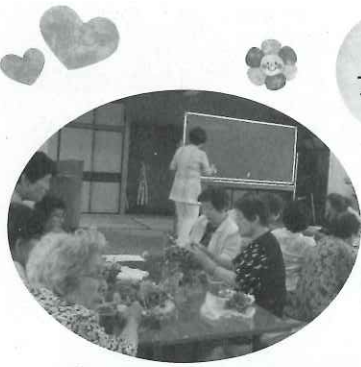
おもな内容

- 江南市社会福祉協議会の取り組み 2ページ
- ボランティア保険の加入・更新について 3ページ
- リレーインタビュー「ボランティア×ボランティア」 4ページ
- ボランティア活動紹介 ～声のボランティアやまびこ編～ 5ページ
- 社協掲示板 6、7ページ
- 江南市社会福祉協議会スローガン決定、福祉クイズ、寄付お礼 8ページ

江南市社会福祉協議会(以下、「江南市社協」といふ)では、市民のみなさまの「ずっとこのまちで暮らしたい」という想いを実現するために、地域に根差した活動(事業)を行っています。

誰もが安心して暮らせる「⑤だんのくらしの①あわせ」を目指して、江南市社協が行っている事業について、2ページで紹介していますので、ご覧ください。

地域の居場所づくり



ハート
フレンズ



移送
サービス

認知症
サポーター
養成講座



ふれあい
いきいき
サロン

「ずっとこのまちで暮らしたい」という想いを実現するために。

江南市社会福祉協議会の取り組み

ふくしについて知る・学ぶ・活動する

福祉実践
教室



ふくし
江南
ふれあい
まつり

子ども
福祉塾



介助犬
PR活動

ボラン
ティア
活動



わんぱく
キャンプ

etc...

上部で紹介した取り組みの他に、障がい、生活困窮などの困りごとを相談できる窓口や、介護保険サービスの提供など、様々な分野で事業を行っています。

平成30年3月に、江南市と江南市社会福祉協議会が合同で「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定をしました。その基本理念である、『みんなで支え、みんなで育む「しあわせ」なまち江南』のもと、人と人をつなげたり、住民一人ひとりが活躍できるしくみづくりを行っています。

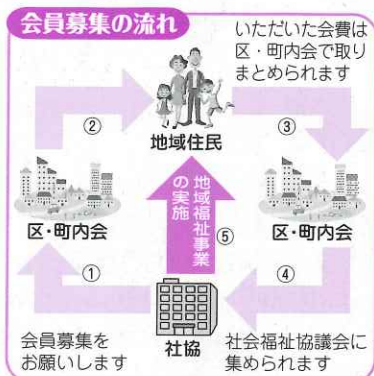
地域福祉計画・地域福祉活動計画につきましては、江南市社会福祉協議会のホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。
URL…<http://www.konan-shakyo.or.jp/>

平成30年度 江南市社会福祉協議会 会員募集のお願い

江南市社会福祉協議会の事業の一部は、みなさまから寄せられた会費によって行われています。

会費は、区長、町総代様を通じて募集しており、一口100円から、二口以上を目安にお願いしております。

地域のみなさまと一緒に取り組む事業などに活用するため、ご協力をよろしくお願いいたします。



会員の加入は任意です。江南市の地域福祉の推進のため、ご協力をお願いいたします。

ボランティア保険の加入・更新について



～今年度の手続きはお済みですか？～

ボランティア活動中の事故などを補償するボランティア活動保険が、平成29年度加入分については平成30年3月31日をもって補償期間が終了しました。

ボランティア活動をしている方、これから活動を始めようとしている方は、活動中の万が一の事故に備えてボランティア活動保険に加入、更新の手続きをしてください。

～活動に応じて選べる保険～

個人・1年間補償

(※加入日の翌日から平成31年3月31日まで)

ボランティア活動保険

ボランティア活動保険は、国内でボランティア活動中に、ケガをした場合の「傷害補償」と第三者の身体または財物に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合の「賠償責任補償」をセットにした保険です。



団体・行事日数分補償

ボランティア行事用保険

ボランティア行事用保険は、社会福祉協議会およびボランティア団体が主催となる行事活動中に参加者がケガをした場合の「傷害補償」と事故により主催者が民法上の責任を負った場合の「賠償責任補償」をセットにした保険です。

※手続きをする際は、江南市社会福祉協議会にある「加入申込書」に必要事項を記入・捺印の上、保険料を添えてご提出ください。名簿(様式自由)がある場合は、加入申込書に添付してください。

保険

ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険の保険料について

ボランティア活動保険 【1名あたりの年間保険料】

| | Aプラン | Bプラン | Cプラン |
|-------|------|------|------|
| 基本プラン | 250円 | 300円 | 350円 |
| 天災プラン | 400円 | 500円 | 590円 |

ボランティア行事用保険 【1名あたりの保険料】 ※参加者人数20名から対象

| | A行事 | B行事 | C行事 |
|-----------------------|-----|-------|------|
| 1日行事保険料 (1名・1日あたり) | 30円 | 135円* | 265円 |

- (1)危険度の高い行事の場合には、今年度よりボランティア行事用保険(C行事)が新設されています。
- (2)ボランティア活動保険に加入後は、補償期間内に複数のボランティア活動をされる場合も補償されます。
- (3)天災プランとは、ボランティア活動中の地震、噴火、津波に伴い、生じた事故などを対象にした保険となります。(※災害ボランティア活動などを行う際に加入必須)
- (4)ボランティア行事用保険は宿泊行事も対象になります。詳細は社会福祉協議会までお問い合わせください。
- (※)ボランティア行事用保険(B行事)の保険料は昨年度から変更しています。



Vol.15

運転ボランティア × 声のボランティアやまびこ

(津田さん、箕浦さん)

(中島さん、西田さん、松浦さん)

ボランティア団体同士が聞き手、語り手となりインタビューをして本音を語ってもらい、ボランティアを身近に感じていただくための企画です。さて、今回はどんなお話が聞けるのでしょうか。

今回の語り手…声のボランティアやまびこ

毎月1回発行されている、広報こうなんと年6回発行されている社協だよりをテープとCDに録音し、視覚障がい者の方に届ける作業を主に行っています。また、よりよいテープとCDを作るため、勉強会や利用者の方との交流会を行っています。

例会日時 毎月下旬4日間 9時～12時 例会場所 老人福祉センター

Q 活動内容について教えてください。

西田さん 活動は市の広報の発行日(毎月1日)に合わせ、月末に集中して行います。再生時間が広報は270分、社協だよりは30～40分のを、2日間かけて録音します。社協だよりは1人で読んでいますが、広報は総ページ数を人数で振り分けます。例えば22人の読み手がいれば、原稿を22人分に分けて机の上に置きます。「ここ読みやすそうだからこれにする!」とみんな好きな原稿を早い者勝ちで決めています(笑)

Q 活動を続けられる秘訣はありますか?

松浦さん やまびこはメンバーの良いところを良いと言える雰囲気があります。音訳中に「上手だね」とメンバーに褒めてもらえます。普段の生活では中々褒められないので、それが嬉しいですね。



中島さん それに加えて、やまびこの「できることをできる範囲です」という考えがあります。みんなが同じことをやらなくてもいいんです。音訳する人、編集する人、どちらもする人、自分ができる範囲での活動だから仕事や子育てなどプライベートとの両立もできるんだと思います。お互い様という雰囲気があって、それぞれが補い合って活動しています。

～必要な方へ届けるために～

西田さん 現在12名の方に送付していますが、もっと利用者を増やしたいですね。そのためには、利用者の家族の理解も大切だと思います。実際に利用者さんから「郵送でのやりとりが自分一人では難しく、家族に頼みづらいので、誰かが取りに来てくれると助かります」と言われたことがありました。日常生活で家族に助けてもらっているから、これ以上のお願いをするごとに抵抗感があるようです。そういう声を拾って、対策を考える必要があると感じています。



私たちの活動は声を届けること。だからこそ音訳の要望には極力応えたい。

Q 利用者からの要望で印象に残っていることはありますか?

中島さん CDを利用されている方からの、ピンポイントで聞きたいタイトルへ飛ばせるようにしてほしいという要望ですね。パソコンが苦手なメンバーが多いので応えられるか不安でしたが、「それでもやろう」とメンバーが言ったことで、一念発起して挑戦しました。

それから、専用ソフトの説明書を読み直すなどの試行錯誤を繰り返し、2年かけてようやくできるようになりました。そうしたら、「あれは良いわ」と、とても喜んでくれて、褒めていただきました。それはもう嬉しくて達成感がありましたね。

利用者さんには積極的で前向きな意見をたくさんいただきます。彼らの存在が、活動へのモチベーションを引き上げてくれていると思います。



～私たちがやれることって何だろう～

中島さん 視覚障がいの方との交流と一緒に外出中、移動介助を頼まれたことがあり、それは特別な技術が必要で、私たちがやってもいいのが不安を感じていました。そこで、身体的なサポートはヘルパーに同行してもらい、私たちは話し相手として参加させてくださいとお願いしたところ、理解してもらいました。

私たちの活動は声を届けることです。だからこそ、音訳に関する要望には極力応えたいと思っています。その時に色々な意見をいただいて、できること、できないことを話し合っています。

西田さん それから、良い意味でお互いに遠慮がなくなりました。以前は「ありがとう」だけだったのが、「実はこの部分は聞きづらかったんだ…」と率直な気持ちを教えてくださるようになりました。それが技術の向上や新しい気づきに繋がっています。

～運転ボランティアから一言～

活動への意識や、利用者への想いなど、共通する点が多くありました。

また、対象が視覚障がい者の方ですが、老眼などで細かい字が読みづらくなる高齢者にとっても良いと思いました。音訳を聞く人がもっと増えるといいですね。

～おわり～